

天然芝と屋内競技場を両立させた 多機能複合型スタジアム床昇降システム

開発の経緯

スポーツビジネスは盛り上がり傾向にあるが、国内にあるスポーツ施設は稼働率が低く運営に苦慮している。市街地から離れた郊外では集客力が落ち、集客が見込める都市部でつくるには土地確保が難しい。このような背景を受け、横河システム建築は天然芝と屋内競技場を両立させた多機能複合型スタジアム床昇降システム「Phovare（ホバーレ）-2」を開発した。サッカーグラウンドの天然芝ピッチの上に屋内フロアが重なる構造で、サッカーグラウンドを使用する際は屋内フロアを上昇させる。芝や土で重量があるサッカーグラウンドではなく、軽量の屋内フロアを昇降させることで昇降装置コストの大幅な削減を図った。同社は、2019年に天然芝ピッチの昇降システムを開発して以来、サッカースタジアムを多機能化することで屋内スポーツやエンタメイベントの利用日数を増やし、「稼げる」スタジアムの実現を目指し、2022年に「Phovare 2」を開発した。このシステムは、天然芝ピッチは床下で人工栽培し、軽量の屋内フロアを昇降

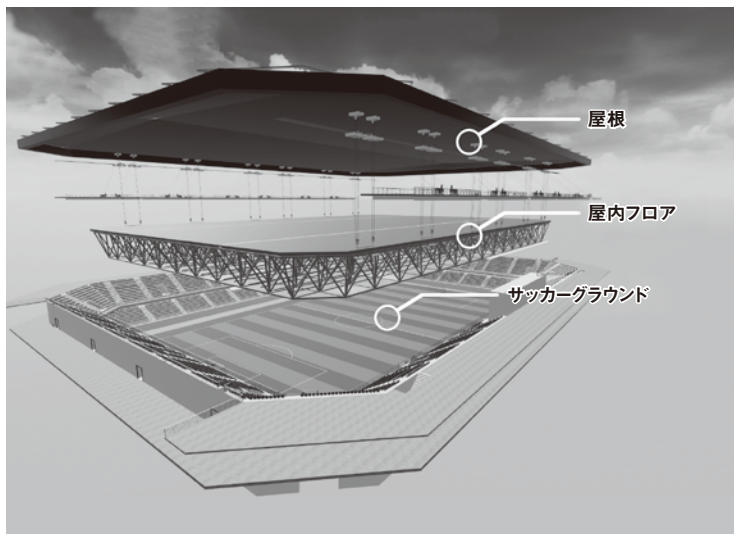
させてコスト低減を図る。屋根付きアリーナをメイン用途とし、サッカー利用はサブ用途とした。

「Phovare 2」の特徴

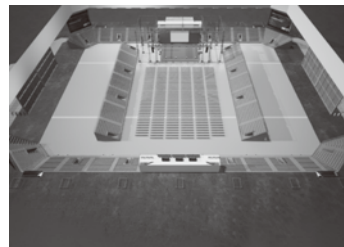
本システムは多機能複合型スタジアムであり、その特徴は以下のとおりである。

- ①通常は屋内競技場フロアが配置され、競技種目や開催規模によって3,000～20,000席の屋内空間を確保する。
- ②天然芝は、屋内フロアの下に配置された照明やスプリンクラーなどの人工栽培施設で育成する。
- ③天然芝を必要とするプロサッカーなどでサッカースタジアムを利用する場合、屋内競技フロアを上昇させる。通常は屋内競技場フロア下に隠れている客席が出現し、20,000席の天然ピッチが可能となる。
- ④用途に応じてフロアを昇降させることで、一つのスタジアムでサッカー以外のバスケットボール、バレーボールなどのプロスポーツ、コンサートなどの幅広いイベントに対応可能である。

【株式会社横河システム建築 特殊建築部 TEL 047-435-4801】



Phovare 2（階層イメージ）



Phovare 2（アリーナモード）



Phovare 2（屋内スポーツモード）